



兵庫五国の「現場」から

施策の取り組み現場の視察や各種行事への出席のため、日々県内各地に足を運ぶ知事の動向をクローズアップします。

他府県との連携した取り組みを強化していきます

8月の香川県に続き、新潟県、大阪府とも連携会議を開催。初開催の新潟県とは、絶滅危惧種の野生復帰とそれを支える有機農業、近代化の礎となった鉱山など共通の地域資源を生かした連携を図ることを確認。大阪府とは、産業や観光など幅広い分野での連携について意見交換をしました。万博に合わせた「空飛ぶクルマ」の社会実装や広域観光周遊ルートの形成等を通じて関西全体を盛り上げていきます。



ひょうごフィールドパビリオン

大阪・関西万博や、さらにその先を見据えた地域が主役の取り組みです。



156のプログラムが動き出しています

万博の開催まで600日を切り、ひょうごフィールドパビリオンは新たに26のプログラムを認定。これにより156のプログラムが動き出しています。国登録有形文化財の湊川隧道とその周辺の歴史遺産の散策、国産のアイアンクラブ製造発祥の地である市川町での鍛造見学、山陰海岸ジオパークのカヌーツアーなど、第3次認定分も兵庫の魅力が詰まったプログラムとなっています。

一丸となってプログラムの魅力を高めていきます

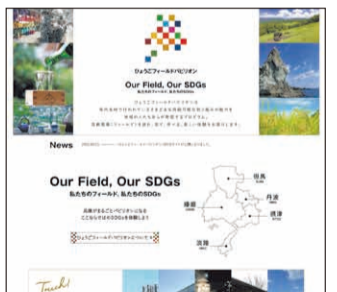
プログラムの魅力向上や、プレイヤー間のネットワークづくりに向けた研修会を開催。各プログラムの現状や課題を整理し、観光客を呼び込む工夫や効果的な発信の方法を意見交換しました。参加者からは「新しい気付きがあった」との声も。万博、さらにはその先も世界中の人々を引き付けるプログラムへと今後も皆さんと共に磨き上げていきます。



専用ホームページを開設！

ひょうごフィールドパビリオン専用ウェブサイト、県内各地での持続可能な取り組みを発信するために開設しました。万博終了まで最新情報を随時更新していきます。

ひょうごフィールドパビリオン



なぜ新潟県と？ 兵庫県と新潟県にはこのような共通点があります



日本から姿を消した鳥類の野生復帰を実現。人と自然、農業が共生する社会づくりを推進しています。



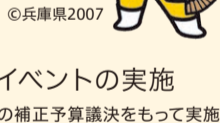
日本の発展を支えた生野銀山と佐渡金山。現在もその文化的価値を後世に伝えています。

みんなで兵庫の海の幸を味わおう

風評被害などにより魚の買い控えが懸念される中で、兵庫の水産物のおいしさを実感してもらおうキャンペーンを展開します。これからの時期はタイやサワラなどが脂が乗って絶品です。皆さんもぜひ、兵庫の豊かな海の幸を味わってください。

主な取り組み

- 「ひょうごの魚」学校給食応援事業
県内で水揚げされた水産物を小中学校の給食で提供
- 「ひょうごの魚」対面販売強化事業
量販店等で調理実演や普及資材の配布等を実施
- 「ひょうごの魚×福島の魚」コラボフェアの開催
両県の魚の食べ比べなど、福島県の魚の安全性PRイベントの実施



※9月定例議会の補正予算議決をもって実施



福島の水産物も応援します

県庁内「ドリームカフェ」では、福島県産水産物を使ったメニューを提供しています。9月は、福島の「ちりめん」「あおさ」のおにぎり、郷土料理の「いかにんじん」をメインにした「お結美定食」が好評でした。10月からは新メニューが登場予定です。ぜひご賞味ください。

